

小郡市議会通信

**まさみつ NEWS****田中まさみつ**

希みが丘4丁目3-2

連絡先 0942-75-4881  
masa-tnk@dion.ne.jp**創刊号完成**

今回の選挙において、皆様のご支持、ご声援を賜り、市議会議員として第一歩を踏み出すことが出来ました。これから、この小郡において市政に携わっていくお一人として、常に市民の皆様の声に耳を傾け、一人前の議員として、皆様の負託に一日でも早くお応え出来るよう、努力精進をして

まいりますのでどうか、宜しくお願ひ申し上げます。本会議を終え、一区切りつきましたので、報告を兼ねて、以前より考えておりました、マイ新聞を発行させて頂くことになりました。今後も、時期を見て随時発行してまいりますので、要読下さいます様よろしくお願い致します。

まいりますのでどうか、宜しくお願ひ申し上げます。は思います。ある新聞による子育て世帯に対する支援では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』

ることへの不安感を、可能な限り取り除くことと私は思っています。ある新聞によれば、子育て世帯に対する支援では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、経済面での不安を強く持つ』

などとあります。

まことに、この問題は、非常に重要な問題で、早急な対応が必要であると思いますので、今後も具体的に要望をして

まいります。

**子どもの安全対策**

先の6月議会において、初の一般質問をさせて頂きましたので、ご報告させていただきます。今回の議会では、少子化対策なども安全対策について

年にピーカを迎えた後、減少に転じ、平成32年には一億二四〇〇万人、平成62年には一億〇〇五九万人と、現在よりも約二七〇〇万人（九州の人口の約2倍）も減少していく」と、報道がありました。公明党も早くからこの事態を重く受け止め、政府に対し様々な要望をしていました。市独自で取り組む少子化対策はあるのかどうか市長に問い合わせました。市長の答弁では、少子高齢化は深刻な問題であることは、認識しているが、市の置かれた財政状況では、独自の施策は考えていません。ただし、予算に余裕があることは、認めた。少子化対策の基本は、「子供を生み育て

より始まる出産一時金の増額について、市における進捗状況を確認し、合わせて公明党の継続した努力によって、この4月より実現した児童手当の拡充、10月

他の自治体でもよく耳にされたない子どもを対象とした事件事故、事件が起こる可能性があることを、事件が起きたときに、やり場のない思いだたびに、やり場のない思いに駆られるのは、皆様も同じ心境だと思います。

他の自治体でもよく耳にされる安全対策には、緊急避難場所として「子ども110番の家」の設置、学校で通学路の安全点検などの実施、地域安全マップの作成、防犯ブザーの配布、そして、通学路の安全点検などの実施、地域安全マップの作成、防犯ブザーの配布、そして、通学路の安全点検などの実施、地域安全マップの作成、防犯ブザーの配布、そして、通学路の安全点検などの実施、地域安全マップの作成、防犯ブザーの配布、そして、

「犯罪は、犯罪にあう確立があります。公明党も早くからこの事態を重く受け止め、政府に対し様々な要望をしていました。市長の答弁では、少子高齢化は深刻な問題であることは、認識しているが、市の置かれた財政状況では、独自の施策は考えていません。ただし、予算に余裕があることは、認めた。少子化対策の基本は、「子供を生み育て

より始まる出産一時金の増額について、市における進捗状況を確認し、合わせて公明党の継続した努力によって、この4月より実現した児童手当の拡充、10月

の内容をどこまで把握できるかが大

**市政への要望や、ちょっと困っていること、皆様のご意見をお待ちしています。(^0^)/**

「子ども自らが、危険を感じ、回避していく能力を高め、被害にあわない力を付けさせて行く事」が非常に重要な視点であると思いました。同博士は、この回避能力を高める地域安全マップ作りを全国的に推進しており、授業のカリキュラムとして、子ども達に取り組み、実績を上げています。今回、質問では、こうした安全対策に対する、なんと具体的な問題で、早急な対応が必要であると思いますので、今後も具体的に要望をして

まいります。

裕が出来たら取り組んでい

くとの趣旨の話でした。少

子化対策は、未来の日本の

経済基盤を脅かす非常に重

要な問題で、早急な対応が

必要であると思いますので、

今後も具体的に要望をして

まいります。

は思います。ある新聞によ

れば、子育て世帯に対する支

援では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、

経済面での不安を強く持つ

』調査では、『働く事との両立や、出産費・教育費など、

経済面での不安を強く持つ

』調査では、『働く事との両立